日本企業によるパーム油問題への取り組み状況に関する格付け評価

プランテーション・ウォッチ*では、2016 年よりパーム油の調達と環境社会配慮に関するアンケート調査を実施しています。このアンケートは、日本におけるパーム油利用の 8 割を占めている食品業界を中心に、それぞれの業界における売上上位の企業を対象としたもので、パーム油に関連する調達方針の有無や方針の実施状況などについて聞いたものです。2021 年度は、115 社にアンケート用紙を送付し、このうち 49 社から回答が得られました。また 2 社からは回答を控えるとの連絡がありました。

また、これらの回答に基づき、パーム油問題への各社の取り組み状況の格付けを作成しています。取り組みの進捗度に応じて、以下のように A～D（上から順に A、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）の格付け評価をしています。

A	サプライヤーによる調達方針の実施を確認した上で、独立検証による確認方法を実施している（RSPO 認証だけではなく、追加的な専門家の検証実施）
BBB	少なくとも苦情リストや No Buy リストを公表している。またサプライヤーが調達方針を遵守していることを確認しており、サプライヤーの NDPE 方針がグループ全体で適用されていることを確認している
BB	少なくとも搾油工場リスト（ミルリスト）を公表している。また是正措置の要求や取引停止に関する規定を持っており、 搾油工場・農園までのトレーサビリティを把握している
B	少なくとも NDPE 方針を持っている（NDPE 方針にすべての要素が含まれていない場合は CCC）、また期限付き実施計画を作成し、自己評価と報告をしている
CCC	調達方針がすべての製品に適用されている
CC	RSPO 認証油を調達している（B&C 方式を除く）
C	調達方針を持っている（公表していない場合は D）
D	調達方針を持っていない
-	アンケートに無回答

次ページより、7 つの業界（お菓子会社、インスタント食品会社、食料品販売会社、パン・マーガリン会社、外食サービス会社、商社、日用品・油脂・調味料会社）ごとの格付け評価と総評をご覧いただけます。

*プランテーション・ウォッチは、以下の 6 団体が協働して、熱帯地域での単一作物の大規模栽培が抱える問題について情報提供し、責任ある原料調達を目指す取り組みを支援する NGO ネットワークです。
熱帯林行動ネットワーク（JATAN）、レインフォレスト・アクション・ネットワーク（RAN）日本代表部、一般財団法人地球・人間環境フォーラム、非営利活動法人国際環境 NGO FoE Japan、特定非営利活動法人メコン・ウォッチ、サラワク・キャンペーン委員会（SCC）

お菓子会社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価		パーム油利用量（トン）（ACOP* 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
		2021	2020			
	ネスレ日本株式会社	BB	BB	452, 719	97/68	68 (100) ※
meiji	株式会社 明治	BB	B	20, 212	37/-	×
Glico	江崎グリコ株式会社	B	D	10, 600	-	-
Calbee	カルビー株式会社	B	C	40, 351	88. 5/61. 7	-
	森永製菓株式会社	B	D	10, 157	32/30	-
	亀田製菓株式会社	B	D	2, 576	×	-
House	ハウス食品株式会社	B	-	6, 686	-	-
	森永乳業株式会社	C	C	4, 746	×	-
	株式会社湖池屋	D	C	RSPO未加盟	90/60	-
LOTTE	株式会社ロッテ	D	D	19, 307	-	-
ブルボン	株式会社ブルボン	D	D	9, 888	-	-
	株式会社おやつカンパニー	D	D	RSPO未加盟	-	-
YBC	ヤマザキビスケット株式会社	-	-	-		
	株式会社不二家	-	-	-		
	味覚糖株式会社	-	-	-		
meito	名糖産業株式会社	-	-	-		
Tohato	株式会社東ハト	-	-	-		
Mary's	株式会社メリーチョコレートカムパニー	-	-	-		
Furuta	フルタ製菓株式会社	-	-	-		
Yamayoshi	山芳製菓株式会社	-	-	-		

※ 農園まで追跡可能としているパーム油のうち、NDPE 方針が適用されるパーム油の割合をカッコ内に示しています。

* ACOP（The Annual Communication of Progress）は、少なくとも一年以上 RSPO に加盟している企業に対して提出が義務付けられている年次報告書です。

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

お菓子会社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている自社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&C方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針にNDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価と報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	農園までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやNo Buyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
ネスレ日本株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△
株式会社 明治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2023)	○	○	△	△	×	△	△
江崎グリコ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2030)	△(RSPO)	△	△	－	×	○	－
カルビー株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△(強)	○(2030)	×	×	×	○	×	△	－
森永製菓株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△(森/強)	○(2023)	×	×	×	○	×	×	－
亀田製菓株式会社	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	×	×	×	－	○	－
ハウス食品株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△(強/先)	△	×	△	△	－	×	△	－
森永乳業株式会社	○	△	○	○	○	○	○	△(予定)	○	△(強)	△	○	×	×	×	－	△	－
株式会社湖池屋	○	○	○	○	○	○	×	△(予定)	－	－	－	－	×	－	○	－	－	－
株式会社ロッテ	○	△	○	○	○	×	○	○	○	△(強)	○(2028)	○	－	×	－	×	△	－
株式会社ブルボン	○	△	○	○	○	×	△(RSPO)	○	△	－	○(2027)	×	－	×	－	－	△	－
株式会社おやつカンパニー	○	○	△	△	△	×	×	×	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤマザキビスケット株式会社																		
株式会社不二家																		
味覚糖株式会社																		
名糖産業株式会社																		
株式会社東ハト																		
株式会社メリーチョコレートカムパニー																		
フルタ製菓株式会社																		
山芳製菓株式会社																		

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

お菓子会社の総評（2021 年）

全体として、パーム油問題への取り組みが遅れていると言われる食品業界の中でも、お菓子会社には NDPE（森林減少禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止）方針の内容を含む調達方針を掲げ、方針の実施に着手している企業が比較的多いという印象を受けました。多くの企業は持続可能なパーム油 100%の目標年を 2030 年までに設定していますが、今後さらに取り組みを進め、前倒しで達成されることを期待しています。

この中で、パーム油のサプライチェーンを搾油工場まで把握していると回答した企業は、トップを走るネスレ日本と、明治、江崎グリコ、ハウス食品の 4 社に増えました。サプライチェーンの管理は、生産地での問題に関与していないかどうか確認し、仮に関与していた場合に対処できるようにするため重要となります。

またカルビー、おやつカンパニー、森永製菓、亀田製菓、山芳製菓の 5 社から、新たに RSPO 認証油の調達を予定、検討しているとの回答がありました。RSPO 認証油を取り扱う企業が増えたことは素晴らしいことではありますが、認証に頼るだけでは生産国でのリスクを避けることはできないため、今後トレーサビリティの確認といった取り組みも同時に進めていかれることを期待しています。

インスタント食品会社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価 2021	評価 2020	パーム油利用量（トン）（ACOP 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
	日清食品ホールディングス株式会社	BB	B	127, 700	50/-	×
	株式会社 明治	BB	B	20, 212	37/-	×
	味の素株式会社	B	B	36, 949	84/-	×
	東洋水産株式会社	B	C	75, 000	×	-
	江崎グリコ株式会社	B	C	10, 600	-	-
	ハウス食品株式会社	B	-	6, 686	-	-
	キユーピー株式会社	C	-	6, 880	×	-
	株式会社日清製粉グループ本社	C	C	RSPO未加盟	×	-
	テーブルマークホールディングス株式会社	D	C	RSPO未加盟	-	-
	マルハニチロ株式会社	D	-	1, 932	-	-
	日本水産株式会社	D	C	ACOP未提出	-	-
	株式会社ニチレイ	-	CCC	-		
	株式会社ニップン	-	C	-		
	株式会社 極洋	-	-	-		
	エスビー食品株式会社	-	-	-		
	サンヨー食品株式会社	-	-	-		
	エースコック株式会社	-	-	-		

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

インスタント食品会社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている自社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&G方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針にNDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価と報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	農園までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやNo Buyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
日清食品ホールディングス株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2030)	○	○	○	△	△	○	△
株式会社 明治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2023)	○	○	△	△	×	△	△
味の素株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2030)	○	×	○	△	△	△	△
東洋水産株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2031)	△(RSPO)	×	×	×	×	○	-
江崎グリコ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2030)	△(RSPO)	△	△	-	×	○	-
ハウス食品株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△(強/先)	△	×	△	△	-	×	△	-
キユーピー株式会社	○	○	○	○	○	○	○	△(検討)	○	△(森)	×	-	×	△	×	×	×	-
株式会社日清製粉グループ本社	○	△	○	○	○	○	○	△(検討)	○	△(強/先)	△	×	○	×	×	-	△	-
テーブルマークホールディングス株式会社	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△(強)	×	-	-	×	-	-	△	-
マルハニチロ株式会社	○	○	○	○	○	×	×	△(予定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日本水産株式会社	○	○	○	○	○	×	○	△(予定)	○	△(強)	○(2025)	○	-	×	×	×	△	-
株式会社ニチレイ																		
株式会社ニップン																		
株式会社 極洋																		
エスビー食品株式会社																		
サンヨー食品株式会社																		
エースコック株式会社																		

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

インスタント食品会社の総評（2021 年）

全体として、パーム油問題への取り組みが遅れていると言われる食品業界の中でも、インスタント食品会社にはパーム油に適用される調達方針を掲げ、（予定・検討を含め）RSPO 認証油を取り扱う企業が多いという印象を受けました。

インスタント食品業界の中でトップを走るのは日清食品ホールディングスで、第二位は明治、第三位は味の素といずれもグローバルに事業を展開する企業が後に続きます。

パーム油のサプライチェーンを搾油工場まで把握・公表していると回答した企業は、日清食品ホールディングス（2022 年 5 月公表）と明治、日清製粉グループ本社の 3 社でした。サプライチェーンの管理は、生産地での問題に関与していないかどうか確認し、仮に関与していた場合に対処できるようにするために重要となります。（江崎グリコとハウス食品については、公表はしていないものの、把握はしているとの回答をもらいました。）

また、東洋水産、江崎グリコ、ハウス食品から新たに RSPO 認証油の調達を開始したとの回答がありました。RSPO 認証油の取り扱いは持続可能なパーム油のための取り組みとして重要な第一歩ではありますが、それだけでは生産国でのリスクをすべて避けることはできないため、今後トレーサビリティの確認といった取り組みも同時に進めていかれることを期待しています。

食料品販売会社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価		パーム油利用量（トン）（ACOP 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
		2021	2020			
pal-system	パルシステム生活協同組合連合会	B	D	RSPO未加盟	×	–
COOP SAPPORO	生活協同組合コープさっぽろ	CCC	D	RSPO未加盟	×	×
FamilyMart	株式会社ファミリーマート	D	D	RSPO未加盟	–	–
CGC	株式会社シジシージャパン	D	D	RSPO未加盟	–	–
コープみらい	生活協同組合コープみらい	D	D	RSPO未加盟	–	–
CO-OP	日本生活協同組合連合会	D	D	5,047	–	–
株式会社良品計画	株式会社良品計画	D	–	RSPO未加盟	–	–
生活クラブ	生活クラブ事業連合生活協同組合連合会	D	D	RSPO未加盟	×	×
みやぎ生協	生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合（みやぎ生活協同組合）	D	D	RSPO未加盟	×	–
coop ユーコープ	生活協同組合ユーコープ	*	D	RSPO未加盟	–	–
AEON	イオン株式会社	–	–	–		
7&i	株式会社セブン＆アイホールディングス	–	–	–		
サミット	サミット株式会社	–	–	–		
LAWSON	株式会社ローソン	–	–	–		
Tokyu Store	株式会社東急ストア	–	–	–		
イズミヤ	イズミヤ株式会社	–	–	–		
U.S.M.Holdings	ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社	–	–	–		
ライフ	株式会社ライフコーポレーション	–	–	–		
ARCS	株式会社アークス	–	–	–		
Valor	株式会社バロー	–	–	–		
HEIWADO	株式会社平和堂	–	–	–		
YAOKO MARKETPLACE	株式会社ヤオコー	–	–	–		
オーケー	株式会社オーケー	–	–	–		
コープこうべ	生活協同組合コープこうべ	–	–	–		
Secoma	株式会社セコマ	–	–	–		
SEIYU	合同会社西友	–	–	–		

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

食料品販売会社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている会社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&C方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針にNDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価を報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	農園までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやBuyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
パルシステム生活協同組合連合会	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	△	×	×	×	×	×	△	–
生活協同組合コープさっぽろ	○	×	○	○	○	○	△	○	○	–	△	×	×	×	×	×	○	–
株式会社ファミリーマート	○	△	○	○	○	×	○	△（検討）	△	△（強）	×	×	–	×	–	×	△	–
株式会社シジシージャパン	○	△	○	○	○	×	–	×	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
生活協同組合コープみらい	○	○	○	○	○	×	○	×	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–
日本生活協同組合連合会	○	△	○	○	○	×	○	○	○	△（森/泥/強）	○（2030）	×	–	△	–	×	×	–
株式会社良品計画	○	△	○	○	○	×	○	△（検討）	○	△（強）	×	×	–	○	–	×	○	–
生活クラブ事業連合生活協同組合連合会	○	△	○	○	○	×	△	△（予定）	△	△（森/泥/強）	△	×	×	×	×	×	△	–
生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合（みやぎ生活協同組合）	○	○	○	○	×	×	×	×	–	–	–	–	–	–	×	–	–	–
生活協同組合ユーコープ	×	–	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
イオン株式会社																		
株式会社セブン&アイホールディングス																		
サミット株式会社																		
株式会社ローソン																		
株式会社東急ストア																		
イズミヤ株式会社																		
ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社																		
株式会社ライフコーポレーション																		
株式会社アークス																		
株式会社バロー																		
株式会社平和堂																		
株式会社ヤオコー																		
株式会社オークワ																		
生活協同組合コープこうべ																		
株式会社セコマ																		
合同会社西友																		

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

食料品販売会社の総評（2021 年）

食料品販売企業は、全体としてアンケート調査への解答率が低いだけでなく、パーム油問題への取り組みが他の業界と比較して遅れをとっている印象を受けました。

スーパー・小売業界はサプライチェーンのもっとも川下にあり、幅広い商品を取り扱っているため、生産地までのトレーサビリティを確認することが難しいという事情があるのかもしれません。

ただ、自社でパーム油を利用した PB（プライベートブランド）商品を開発したり、店舗で調理油としてパーム油を利用したりするケースもあるため、主体性を持って持続可能なパーム油の利用に向けた取り組みを進められることを期待します。

また、消費者とも直接触れる機会が多い業種であるため、持続可能なパーム油の普及に向けた他の業界とは異なる役割を果たしてもらえることを食料品販売企業に期待しています。

パン・マーガリン会社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価 2021	評価 2020	パーム油利用量（トン）（ACOP 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
meiji	株式会社 明治	BB	B	20,212	37/-	×
雪印メグミルク	雪印メグミルク株式会社	B	B	2,000	50/20	-
J-OYL	株式会社J-オイルミルズ	B	B	67,200	99.95/3.2	-
Pasco	敷島製パン株式会社	D	C	RSPO未加盟	-	-
ヤマザキ	山崎製パン株式会社	-	-	-		
フジパン	フジパン株式会社	-	-	-		
神戸屋	株式会社神戸屋	-	-	-		
第一パン	第一製パン株式会社	-	-	-		
Nichiro	日糧製パン株式会社	-	-	-		
木村屋総本店	株式会社木村屋総本店	-	-	-		

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

パン・マーガリン会社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている自社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&C方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針にNDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価と報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	農園までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやNo Buyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
株式会社 明治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2023)	○	○	△	△	×	△	△
雪印メグミルク株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2030)	○	△	×	○	-	○	-
株式会社J-オイルミルズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2030)	○	△	×	○	×	○	-
敷島製パン株式会社	○	△	○	○	○	×	△	○	△	△（森）	△	×	-	×	-	-	×	-
山崎製パン株式会社																		
フジパン株式会社																		
株式会社神戸屋																		
第一製パン株式会社																		
日糧製パン株式会社																		
株式会社木村屋総本店																		

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

パン・マーガリン会社の総評（2021 年）

日本国内でのパーム油の用途別使用量として、パンを作るときに必要なショートニングやマーガリンがもっとも多くを占めています。しかし、パン製造業では敷島製パンを除きアンケートへの回答が得られなかったため、取り組み状況の実態がわからないという結果になりました。

マーガリンを製造している明治、雪印メグミルク、J オイルミルズの上位三社については今回新たに、パーム油のサプライチェーンを搾油工場まで把握（明治は把握だけでなく公表）しているとの回答をいただきました。

サプライチェーンの管理は、生産地での問題に関与していないかどうか確認し、仮に関与

していた場合に対処できるようにするため重要となります。この調子で取り組みを進めることで、業界を牽引されることを期待しています。

外食サービス会社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価		パーム油利用量（トン）（ACOP 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
		2021	2020			
	日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	B	B	RSPO未加盟	100/-	-
	株式会社セブン＆アイホールディングス	-	-	-		
	株式会社ゼンショーホールディングス	-	-	-		
	株式会社すかいらーく	-	-	-		
	株式会社コロワイド	-	-	-		
	日清医療食品株式会社	-	D	-		
	日本マクドナルドホールディングス株式会社	-	-	-		
	株式会社吉野家ホールディングス	-	-	-		
	株式会社ダスキン	-	-	-		
	エームサービス株式会社	-	-	-		
	株式会社あきんどスシロー	-	-	-		
	株式会社プレナス	-	-	-		
	株式会社サイゼリヤ	-	-	-		
	株式会社モンテローザ	-	-	-		
	株式会社グリーンハウス	-	-	-		
	ワタミ株式会社	-	-	-		
	株式会社ドトール・日レスホールディングス	-	-	-		
	株式会社くらコーポレーション	-	-	-		
	株式会社王将フードサービス	-	-	-		
	株式会社モスフードサービス	-	-	-		

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

外食サービス会社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている自社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&C方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針にNDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価と報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	最国までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやNo Buyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	×	△	△	△	×	○	－
株式会社セブン&アイホールディングス																		
株式会社ゼンショーホールディングス																		
株式会社すかいらーく																		
株式会社コロワイド																		
日清医療食品株式会社																		
日本マクドナルドホールディングス株式会社																		
株式会社吉野家ホールディングス																		
株式会社ダスキン																		
エームサービス株式会社																		
株式会社あきんどスシロー																		
株式会社ブレナス																		
株式会社サイゼリヤ																		
株式会社モンテローザ																		
株式会社グリーンハウス																		
ワタミ株式会社																		
株式会社ドトール・日レスホールディングス																		
株式会社くらコーポレーション																		
株式会社王将フードサービス																		
株式会社モスフードサービス																		

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

外食サービス会社の総評（2021 年）

外食サービス会社は 20 社を対象としていましたが、2021 年に回答を得られたのは日本ケンタッキー・フライド・チキンのみでした。

回答率の低さは、他のどの業界よりもパーム油問題に対する意識が低いことを表しているのではないかと思います。

ウェブサイトの情報によれば、セブン＆アイホールディングスや日本マクドナルドホールディングスなどは RSPO に加盟するなどの取り組みを進められているようですが、アンケートの回答がなかったため全体としての取り組み状況の実態はわかりませんでした。

商社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価 2021	評価 2020	パーム油利用量（トン）（ACOP 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
ITOCHU	伊藤忠商事株式会社	BB	-	339, 733	99. 9/未公開	×
三菱商事	三菱商事株式会社	B	-	205, 350	99/-	0（100）※
MITSUI & CO.	三井物産株式会社	B	-	508, 000	100/-	×
Marubeni	丸紅株式会社	B	-	ACOP未提出	100/67	-
住友商事	住友商事株式会社	C	-	640	100/-	-
sojitz	双日株式会社	*	-	-	-	-

※ 農園まで追跡可能としているパーム油のうち、NDPE 方針が適用されるパーム油の割合をカッコ内に示しています。

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

商社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている自社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&C方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針にNDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価と報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	農園までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやNo Buyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
伊藤忠商事株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○（2030）	○	○	×	△	×	○	○
三菱商事株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○（2030）	○	△	○	△	×	○	×
三井物産株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○（2030）	○	△	○	△	△	△	△
丸紅株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○（2030）	×	△	△	○	×	○	△
住友商事株式会社	○	○	○	○	○	○	○	△（予定）	○	○	△	×	△	△	△	×	○	-
双日株式会社	×	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

商社の総評（2021 年）

商社は、対象とするすべての企業から回答をいただきました。

全体として、他の業界に比べて取り組みが圧倒的に進んでいるという印象を受けました。唯一、双日からはパーム油を取り扱っていないという回答であったため、評価の対象外としています。

それ以外のすべての企業が RSPO 認証油を取り扱っており（住友商事のみ予定）、NDPE（森林減少禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止）方針の内容を含む調達方針を掲げ、期限付きの計画に基づきこれらの方針を実施していると回答しています。

また、すべての企業がパーム油のサプライチェーンを搾油工場まで把握（三菱商事は把握だけでなく公表）していると回答しています。サプライチェーンの管理は、生産地での問題に関与していないかどうか確認し、仮に関与していた場合に対処できるようにするため、

生産地により近い商社にとっては重要となります。

引き続き、この調子で持続可能なパーム油の調達を進め、2030 年の目標年を前倒しで達成されることを期待しています。

日用品・油脂・調味料会社のパーム油問題への対応状況（2021 年）

企業名		評価		パーム油利用量（トン）（ACOP 2020）	搾油工場/農園まで追跡可能なパーム油の割合（%）	NDPE方針をカバーしているパーム油の割合（%）
		2021	2020			
不二製油株式会社	不二製油株式会社	BBB	BB	611, 424	100/71	59. 6 (84) ※
kao	花王株式会社	BB	BB	430, 643	100/60	60 (100) ※
NISSHIN Oillio	日清オイリオグループ株式会社	BB	B	569, 947	98. 3/-	×
JOYL	株式会社J-オイルミルズ	B	B	67, 200	99. 95/3. 2	-
unicharm	ユニ・チャーム株式会社	B	CCC	132	77/0	0 (77) ※
AJINOMOTO	味の素株式会社	B	B	36, 949	84/-	×
ADEKA	株式会社ADEKA	B	D	96, 300	×	-
House	ハウス食品株式会社	B	-	6, 686	-	-
LION	ライオン株式会社	CC	CC	36, 103	×	×
キユーピー	キユーピー株式会社	C	-	6, 880	×	-
kaneka	カネカ株式会社	D	CC	72, 500	100/1	-
ミヨシ油脂株式会社	ミヨシ油脂株式会社	D	-	66, 000	7/0	-
月島食品工業株式会社	月島食品工業株式会社	D	D	41, 506	0. 7/0	-
P&G	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社	-	-	-		
SHISEIDO	株式会社資生堂	-	-	-		
Unilever	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社	-	-	-		
日油株式会社	日油株式会社	-	-	-		
kikkoman	キッコーマン株式会社	-	-	-		
mizkan	株式会社ミツカン	-	-	-		
TaKaRa	宝ホールディングス株式会社	-	-	-		
KAGOME	カゴメ株式会社	-	-	-		
エバラ	エバラ食品工業株式会社	-	-	-		
ヤマキ	ヤマキ株式会社	-	D	-		
marukome	マルコメ株式会社	-	-	-		
HIKARI MISO	ひかり味噌株式会社	-	-	-		

※ 農園まで追跡可能としているパーム油のうち、NDPE 方針が適用されるパーム油の割合をカッコ内に示しています。

それぞれの企業の達成状況の詳細については以下の通り。

日用品・油脂・調味料会社のパーム油問題への対応状況（2021年）

企業名	D						C	CC	CCC	B			BB			BBB		
	パーム油が入っている自社製品を把握している	パーム油の調達先を把握している	パーム油の問題を知っている	SDGsや国際目標を知っている	RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）を知っている	生産地までのトレーサビリティを確認している	パーム油に適用される調達方針を持っている	RSPO認証油を調達している（B&C方式を除く）	調達方針がすべての地域・パーム油関連製品に適用される	調達方針に NDPEに関する内容が明記されている	調達方針を実現するための期限付きの実施計画がある	実施計画の自己評価と報告をしている	サプライチェーン上の搾油工場をすべて把握、公表している	是正措置の要求や取引の停止などの規定がある	農園までのトレーサビリティーを把握している	苦情リストやNo Buyリストを公表している	サプライヤーが調達方針を遵守していることを確認している	サプライヤーのNDPE方針がグループ全体に適用されることを確認している
不二製油株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ (2030)	○	○	○	○	○	△	○
花王株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ (2025)	○	○	○	○	△	△	○
日清オイリオグループ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ (2030)	○	○	○	△	△	△	△
株式会社J-オイルミルズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ (2030)	○	△	×	○	×	○	–
ユニ・チャーム株式会社	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△ (森/強/先)	○ (2030)	○	×	×	○	×	×	△
味の素株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ (2030)	○	×	○	△	△	△	△
株式会社ADEKA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ (強/先)	×	–	△	×	×	×	×	–
ハウス食品株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△ (強/先)	△	×	△	△	–	×	△	–
ライオン株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○ (2030)	○	△	△	×	×	△	○
キユーピー株式会社	○	○	○	○	○	○	○	△ (検討)	○	△ (森)	×	–	×	△	×	×	×	–
カネカ株式会社	○	○	○	○	○	○	△ (RSPO)	○	△	×	○ (2030)	△ (RSPO)	△	△	○	×	△	–
ミヨシ油脂株式会社	○	△	○	○	○	○	×	○	–	–	–	–	△	–	○	–	–	–
月島食品工業株式会社	○	○	○	○	○	○	×	○	–	–	–	–	×	–	○	–	–	–
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社																		
株式会社資生堂																		
ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社																		
日油株式会社																		
キッコーマン株式会社																		
株式会社ミツカン																		
宝ホールディングス株式会社																		
カゴメ株式会社																		
エバラ食品工業株式会社																		
ヤマキ株式会社																		
マルコメ株式会社																		
ひかり味噌株式会社																		

※ 先の項目を満たしていたとしても、それ以前の項目を満たしていなければそこまでをその企業の到達点としています。
※ それぞれの企業がどこまで取り組みを進めているか、到達点までの項目をグレーで示しています。
※ 過去の調査結果との違いを見やすくするために、昨年度のものから改善している項目を水色で示しています。（グレーと水色が重複する場合は、水色を優先しています）
※ 以上の評価に基づき、それぞれの企業の進捗度をA～D（上から順にA、BBB、BB、B、CCC、CC、C、D）のスコアで全体を評価をしています。

日用品・油脂・調味料会社の総評（2021 年）

全体として、特に油脂メーカーと日用品メーカーについては食品業界と比べてパーム油問題への意識が高く、取り組みが進んでいる印象を受けました。

今回アンケートに回答いただいたすべての企業が RSPO 認証油を調達（キューピーのみ予定）しているという結果は、この業界の意識の高さを示していると思います。

また、パーム油のサプライチェーンを搾油工場まで把握していると回答した企業は、トップを走る不二製油と、花王、日清オイリオグループ、J-オイルミルズ、ハウス食品、ADEKA、ライオン、カネカ、ミヨシ油脂の 9 社（うち不二製油、花王、日清オイリオは把握だけでなく公表）となりました。

さらに苦情リストや No Buy リストは、生産地で問題が発覚した場合に対応するためのもので、方針を実施していることを示す指標の一つとしていますが、まだほとんどの企業が持っていない中で不二製油、花王、日清オイリオグループ、味の素がその両方またはどちらかを作成・公表していると回答しました。

今後、これらの企業が日本での先進事例を示すことで、業界全体を牽引されていくことを期待しています。